

『高田高校ニュージーランド海外研修』仕様書

1. 高田高校ニュージーランド海外研修資料提出のお願い

平素より、本校の教育活動に対しご理解とご協力を承り、誠にありがとうございます。

さて、本校では下記の目的・内容で『高田高校ニュージーランド海外研修』を企画しております。つきましては、本仕様書に基づき、8-1に記載の資料を御提出していただきたく、ご協力の程よろしくお願いいたします。

2. 実施目的

- | |
|-----------------------------------|
| (1) 言語力・コミュニケーション力の育成（現地の高校生との交流） |
| (2) 環境問題に関する専門的な研修（現地の大学・研究施設） |
| (3) 異文化や多様性の理解（ホームステイ） |

本研修の目的は、国際的に活躍できる人材の育成にある。将来、世界で広く社会に役立つ人材となるためには、知識や技能を身に付けるだけでなく、それらをどう使いこなすかを考える能力、社会における問題点を認識する能力、その問題を解決するための方策を考える能力が必要である。そして、グローバル化が進む現在、大きな成果を上げるためには、文化的なバックグラウンドの異なる他者との協働が不可欠であり、そのためには英語力を含む高いコミュニケーション能力が必要である。本研修はこれらの能力の伸長のため、ニュージーランドを訪問し、現地の高校生と交流を行う。また、現地の研究機関などを訪れ、環境に関する専門的な研修を行う。そして、異文化や多様性の理解を深めるために、ホームステイを行う。

3. 実施期間

平成 31 年 3 月 2 日（土）～平成 31 年 3 月 11 日（月）（10 日）

4. 訪問先

月日（曜日）	国名・都市名	施設名等
3/2（土）	日本・成田	国内移動、飛行機に搭乗
3/3（日）	NZ・ウェリントン	ホストファミリー宅
3/4（月） ～8（金）	NZ・ウェリントン	ワイヌイオマタ高校での交流 ホストファミリー宅
3/9（土） 10（日）	NZ・ウェリントン	ホストファミリー宅
3/11（月）	日本	帰国

5. 参加予定人数（見込）

生徒 30名以内
引率教員 2名

6. 行程案（昨年のもの）

日程	地名	現地時間	交通機関	予定	食事
3/17 (土)	上越妙高発 東京発 成田空港発 成田空港発	11:59 13:52 14:15 15:43 18:30	新幹線 快 速 NZ90 便	はくたか560号、快速エアポート号にて成田空港へ 成田空港に到着。搭乗手続 空路 オークランドへ（10時間35分）+4 《機中泊》	昼：× 夕：機内
3/18 (日)	オークランド空港着 オークランド空港発 ウェリントン空港着 ウェリントン	09:05 11:00 12:05 午後	NZ421 便 専用車	到着後、入国手続 空路ウェリントンへ WAINIOMATA HS 到着。 ホームステイオリエンテーション後、 ホストファミリーと対面、各家庭へ 《ホームステイ》	朝：機内 昼：弁当 夕：○
3/19 (月)	ウェリントン	午前 午後		“POWHIRI”（マオリの歓迎式） 英語特別授業（NZ 歴史と文化について） ＜共通＞学校内ツアーとハカ（ダンス）のレッスン 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
3/20 (火)	ウェリントン	午前 午後	専用車	英語特別授業（食品技術について） ＜文系＞ヴィクトリア大学訪問 ＜理系＞マッセイ大学訪問 各大学のプログラム詳細は2月以降決定予定 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
3/21 (水)	ウェリントン	午前 午後	専用車	英語特別授業（技術プロジェクトについて） ＜文系＞ウェリントン市内散策ツアー ＜理系＞ニュージーランド国立大気水圏研究所（NWA） 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
3/22 (木)	ウェリントン	午前 午後		英語特別事業（技術プロジェクトについて2） ＜共通＞現地校生徒との討論会 （テーマ）地球温暖化と両国の学生生活への影響と持続可能性について 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
3/23 (金)	ウェリントン	午前 午後		英語特別授業（ゲストスピーカーとのNZ Q&A） ＜共通＞Farewell Party 修了式 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
3/24 (土)	ウェリントン	終 日		ホストファミリーと過ごす週末 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
3/25 (日)	ウェリントン	終 日		ホストファミリーと過ごす週末 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
3/26 (月)	ウェリントン ウェリントン空港発 オークランド空港着 オークランド空港発 成田空港着 成田空港発 東京発 上越妙高発	早 朝 06:45 07:50 09:55 16:50 18:48 19:49 20:12 22:17	専用車 NZ404 便 NZ99 便 成田 EX 新幹線	学校集合・ホストファミリーとお別れ 空路オークランドへ 空路帰国の途へ（10時間55分）-4 到着後、入国手続 成田エクスプレス46号、はくたか577号にて 上越へ 到着後解散 お疲れ様でした	朝：○ 昼：機内 夕：機内

7. 提案書に記載する内容及び経費

7-1. 学校が企画した研修先および研修内容に即した旅程時程等の提案

7-2. 経費（引率を含めた参加者人数が10名、20名、30名の場合の見積を作成すること）

1) 交通費

①航空運賃

ア 別記の日程表による、全行程エコノミークラスを利用すること。

イ 渡航手続き費用、航空保険料を含めること。

ウ 乗り継ぎによる時間のロスを避け、円滑な移動を考慮した行程とすること。

②現地移動費

現地での移動は原則貸切バスとして旅程を提案すること。

③国内移動費

学校から成田空港までの往復は公共交通機関による移動を提案すること。

④燃油サーチャージ

燃油サーチャージについて、請求の際に上限となり得る金額を記載すること。

⑤国内空港施設使用料・税等

日本国内の空港を使用する際に発生する施設使用料や税等について、見積りに含めること。

⑥国外空港施設使用料・税等

訪問国の空港を使用する際に発生する施設使用料や税等について、見積りに含めること。

2) 宿泊費

宿泊については交流先高校が手配するため、提案の必要はない。

3) 弁当、食事代

滞在中の食事については原則ホストファミリーが用意し、移動中の食事については機内食を利用するため、提案の必要はない。機内食の料金は航空運賃に含むこととする。

4) 入場料、研修費用等

研修にかかる個別の費用については交流先高校を通じて支払うため、提案の必要はない。

5) 保険の費用

海外旅行傷害保険・欠航保険の加入については下記の条件のものを見積りに含めること。

ア 死亡・後遺障害	3, 0 0 0 万円
イ 疾病死亡	3, 0 0 0 万円
ウ 治療・救援費用	2, 0 0 0 万円以内
エ 賠償責任	1 億円以内
オ 携行品損害	2 0 万円以内

6) 諸経費

①現地ガイド

なし

②添乗員

ウェリントン空港と、ホストファミリーと合流するまでの往復について、添乗する。

③講師謝金

なし

④携帯電話料（30分の通話料を含む）

- ・訪問国で使用可能な携帯電話を一台貸与すること。
- ・携帯電話料は「引率者分」の見積りに計上すること。

⑤旅行企画料

7-3. その他

- 1) 渡航手続きの代行事務を請け負うこと。
- 2) 実施30日前までに学校内で生徒、保護者向けの説明会を開催すること。
- 3) 参加者のうち、やむを得ない理由により参加できない者に係る費用は、いわゆるキャンセル料を除いた額を減ずることとし、このため必要な場合は契約変更を行うこと。
- 5) 緊急時における現地での対応を行うこと。
- 6) 研修内容の検討やホストファミリーの手配については、学校間で行う。

8. 提案書・見積書の提出について

8-1. 提出資料

8-3. の提出期日までに提案書と見積書を提出すること。

1) 提案書（業者様式）

提案書には下記の項目を含めること。

①本件の仕様書に沿った行程表

②安全対策を記した資料

・交流先高校（ワイヌイオマタ高校）との連絡・事前協議などの体制（受注後、学校担当者との直接の打合せ出来る体制があること）の提示

・緊急時の対策（危機管理体制）の提示、事故対応の具体策（非常時マニュアルの提示）

③研修先各地に最寄りの支店または現地法人の案内を記載した資料

④営業担当者の紹介（実績・資格等）

⑤人員減の対処方法（取消し料収受の規定等）を記載した資料

⑥会社概要

2) 見積書

8-2. 提出部数

下記提出先に提案書9部

8-3. 提出期限

平成30年10月1日（月曜日）12:00

提案書の提出が不可能な場合は、辞退届（公印があるもの）を提出すること。

8-4. 提出先

新潟県立高田高等学校 担当教諭 平田 威也

8-5. 提案書説明会日程

提案書提出後、学校内で旅行代理店による説明会を実施する。

学校での提案書説明会（プレゼンテーション）予定日

平成30年10月4日（木曜日）16:00～

※各社の時間は別途、連絡します。

9. 評価基準

I 審査委員の審査により採点する項目

審査項目	審査の視点	審査委員 1名当たり 配点	評価基準
受託業務 に対する 考え方	①事業目的を適切に理解しているか。	10	5：優れている
	②受託業務に対する考え方や方針は明確となっているか。	10	
行程	①スムーズで無理のない行程であるか。	10	4：やや優れている
	②負担の少ない交通手段が確保されているか。	10	3：普通
安全	①計画全体において生徒に負担がなく、安全が配慮されているか。	10	1：劣っている
	②緊急時の指揮系統や連絡体制は十分であるか。	10	
	③保険の内容は十分なものとなっているか。	10	
	④業者及び担当者の信頼度は高いか。	10	
費用	以下のⅡを参照	20	以下の算定式による
	合計	100	

Ⅱ 算定式により採点する項目

費用	<ul style="list-style-type: none"> ・最低価格見積提出者： 20 ・上記以外： $\text{最低価格見積額} / \text{当該業者見積額} \times 20$
----	---

10. 本件の問い合わせ窓口

新潟県立高田高等学校 担当教諭 平田 威也 (TEL : 025-526-2317)

以上